

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

企業が抱える課題を解決し、社員全員でヒト・モノ・技術・アイデアを越境させ、社会の役に立ち時代をともに突き動かしていく。

売上高
1,000億円営業利益
100億円

② 中長期の経営戦略

1. 事業開発型商社グループへの変革

社会課題を起点とした新たな事業価値の創出を加速。パーパス・ビジョンの定着と人材育成を推進。

3. 経営プラットフォーム稼働

2025年10月に本格稼働。グループの総合力を発揮し事業成長を支える経営基盤の確立を目指す。

2. セグメント経営の推進

市場ニーズに対応したセグメント経営。2026年度より主なグループ会社の社長交代を実施し新体制を構築。

4. ガバナンス強化

委任型執行役員制度をグループ会社導入。業務執行の迅速化と監督機能強化による経営体制強化。

③ 対処すべき課題

① エネルギーインフラセグメント

- ・ エネルギートランジションへの迅速な対応が最重要課題
- ・ オフショアLNG市場への参入とアンモニア・水素向けローディングアーム開発
- ・ グローバル供給体制構築とコスト競争力強化

② イメージソリューションセグメント

- ・ 映像セキュリティ領域強化とソリューションのレイヤーアップ
- ・ 省人省力化を軸とした課題解決企業への進化
- ・ フィジカルAIの社会実装とアライアンス拡充

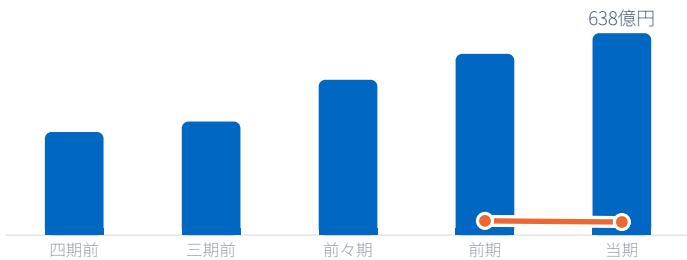
③ マテリアルサプライセグメント

- ・ 市況変動に強い収益基盤の構築
- ・ インド市場での事業展開加速とM&A活用
- ・ セグメント間連携強化によるシナジー創出

面接で使えるポイント

- ・ 創業80周年の2027年度に売上高1,000億円、営業利益100億円を目標に掲げ、持続可能な成長を実現する戦略
- ・ 社員の幸せ・会社の成長・社会への貢献の三位一体を目指し、人材育成センター設立による組織変革
- ・ エネルギートランジション対応、省人化ニーズ対応など、社会課題を起点とした新事業価値の創出が経営の鍵

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
638億円営業利益率
6.5%財務健康度
64点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 68.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
992万円平均年齢
43.8歳平均勤続
6.6年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

